

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-531956 (P2016-531956A)

【公表日】平成 28 年 10 月 13 日 (2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2016-059

【出願番号】特願 2016-515485 (P2016-515485)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/38 (2006.01)

C 0 8 F 2/48 (2006.01)

A 6 1 K 6/083 (2006.01)

A 6 1 K 6/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/38

C 0 8 F 2/48

A 6 1 K 6/083 5 0 0

A 6 1 K 6/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

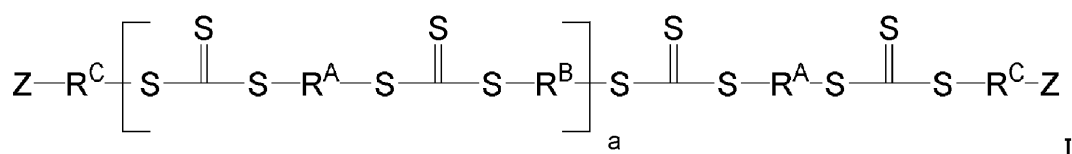
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

【化 1】



[式中、 R^A は、(ヘテロ)ヒドロカルビル基であり、

R^B は、それぞれ独立して(ヘテロ)ヒドロカルビル基であり、

R^C は、それぞれ独立して(ヘテロ)ヒドロカルビル基であり、

下付き文字 a は、0 ~ 60 であり、

Z は、エチレン性不飽和重合性基を含み、

R^A 、 R^B 、 R^C は、それぞれ独立して、2 ~ 10 個の炭素原子を有するアルキレン基である。]

で表される付加開裂剤。

【請求項 2】

$Z-R^C-$ は、 $H_2C=CH-CH_2-O-C_3H_6-$ 、 $H_2C=CH-CH_2-C_6H_{12}-$ 、 $H_2C=CH-$ シクロ - $C_6H_{10}-$ 、 $H_2C=CH-$ フェニル -、 $H_2C=C(CH_3)C(O)-O-CH_2-CH(OH)-CH_2-$ 、 $H_2C=C(CH_3)C(O)-O-CH_2-CH(O-(O)C(CH_3)=CH_2)-CH_2-$ 、 $H_2C=C(CH_3)C(O)-O-CH(CH_2OPh)-CH_2-$ 、 $H_2C=C(CH_3)C$

$\text{O} - \text{O} - \text{CH}_2\text{CH}_2 - \text{N}(\text{H}) - \text{C}(\text{O}) - \text{O} - \text{CH}(\text{CH}_2\text{OPh}) - \text{CH}_2 -$ 、
 $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{CH}_3)\text{C}(\text{O}) - \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C} - \text{N}(\text{H}) - \text{CH}_2\text{C}$
 $\text{H}_2 - \text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{CH}_3)\text{C} = \text{CH}_2) - \text{CH}_2 -$ 、 $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{H})\text{C}(\text{O}) - \text{O}$
 $- (\text{CH}_2)_4 - \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{OH}) - \text{CH}_2 -$ 、 $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{CH}_3)\text{C}(\text{O})$
 $- \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C} - \text{N}(\text{H}) - \text{CH}_2\text{CH}_2 - \text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{CH}_3)$
 $\text{C} = \text{CH}_2) - \text{CH}_2 -$ 、 $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_7 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C} - \text{N}(\text{H}) - \text{CH}$
 $_2\text{CH}_2 - \text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{CH}_3)\text{C} = \text{CH}_2) - \text{CH}_2 -$ 、 $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{H})\text{C}(\text{O})$
 $- \text{O} - (\text{CH}_2)_4 - \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{H}) = \text{CH}_2) - \text{CH}_2 -$ 及
 び $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{H})\text{C}(\text{O}) - \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{OH}) - \text{CH}_2 -$ 、 $\text{H}_2\text{C} = \text{C}(\text{H})$
 $\text{C}(\text{O}) - \text{O} - (\text{CH}_2)_4 - \text{O} - \text{CH}_2 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{H}) = \text{CH}_2) - \text{C}$
 $\text{H}_2 -$ 、並びに $\text{CH}_3 - (\text{CH}_2)_7 - \text{CH}(\text{O} - (\text{O})\text{C} - \text{N}(\text{H}) - \text{CH}_2\text{CH}_2 -$
 $\text{O} - (\text{O})\text{C}(\text{CH}_3)\text{C} = \text{CH}_2) - \text{CH}_2 -$ から選択される、請求項 1 に記載の付加
 開裂剤。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、少なくとも 1 種のフリーラジカル重合性モノマーと、反応開始剤と、を含む、重合性組成物。

【請求項 4】

100 重量部の全モノマー a) ~ d) に対して、

a) 85 ~ 100 重量部の(メタ)アクリル酸エステルと、

b) 0 ~ 15 重量部の酸官能性エチレン性不飽和モノマーと、

c) 0 ~ 10 重量部の非酸官能性エチレン性不飽和極性モノマーと、

d) 0 ~ 5 部のビニルモノマーと、

e) 0 ~ 100 部の多官能性(メタ)アクリレートと、

f) 100 重量部の a) ~ e) に対して、0.1 ~ 20 重量部の前記付加開裂剤と、

g) 反応開始剤と、を含む、請求項 3 に記載の重合性組成物。

【請求項 5】

0.01 ~ 100 部の多官能性(メタ)アクリレートを更に含む、請求項 4 に記載の重合性組成物。

【請求項 6】

強硬化剤を更に含む、請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の重合性組成物。

【請求項 7】

基材上に、硬化した請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の重合性組成物を含む物品。

【請求項 8】

a) 0.1 ~ 10 重量%の請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、

b) 20 ~ 80 重量%の多官能性(メタ)アクリレートモノマー及び/又は多官能性(メタ)アクリレートオリゴマーと、

c) 0 ~ 25 重量%の範囲の(メタ)アクリレート希釈剤と、

d) 20 ~ 75 重量%のシリカと、を含む、ハードコート組成物。

【請求項 9】

a) 少なくとも 2 つのエチレン性不飽和基を含む少なくとも 1 種の歯科用樹脂と、

b) 請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、

c) 任意に無機酸化物充填剤と、を含む、硬化性歯科用組成物。

【請求項 10】

前記歯科用樹脂は、低体積収縮樹脂である、請求項 9 に記載の歯科用組成物。

【請求項 11】

前記歯科用組成物は、エトキシ化ビスフェノール A ジメタクリレート、2 - ヒドロキシエチルメタクリレート、ビスフェノール A ジグリシジルジメタクリレート、ウレタンジメタクリレート、トリエチレングリコールジメタクリレート、グリセロールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ネオペンチルグリコールジメタクリレート(NPGDMA)、ポリエチレングリコールジメタクリレート、及びこれらの混合物から選

択される少なくとも１種のその他の（メタ）アクリレートモノマーを更に含む、請求項9又は10に記載の歯科用組成物。